



# 三田ヶ谷公民館だより

令和 7年3月1日  
発行 三田ヶ谷公民館  
TEL 565-0040

## 令和6年度 三田ヶ谷公民館ラスト講座「終活講座」



- 日 時 3月27日(木) 10時00分～11時30分
- 場 所 三田ヶ谷公民館 ○費 用 無料
- 定 員 30名(先着順)
- 申込み 3月8日(土)から公民館へ連絡(565-0040)、  
もしくはご来館ください。



## “新しい本”が入りました!



春の季節となり、三田ヶ谷公民館 では新しい本が入りました! 小説、エッセイ、図鑑、絵本……。

話題のものから古典的な名作まで、幅広くたのしみながら学べるラインナップです。

本を読んで、迎える春にひと花添えてみませんか?

- ・『どんまいないきもの図鑑DX』(今泉忠明監修、宝島社) ・『大ピンチずかん』(鈴木のりたけ、小学館)
- ・『君たちはどう生きるか』(宮崎駿原作、徳間書店) ・『大ピンチずかん2』(同上)
- ・『カフネ』(阿部暁子、講談社) ・『武田の金 毛利の銀』(垣根涼介、角川書店)
- ・『九十八歳。戦いやまず日は暮れず』(佐藤愛子、小学館) ・『日本百名山』(深田久弥、新潮文庫)
- ・『学研の図鑑 キン肉マン超人』(ゆでたまご監修、学研プラス)



## ～公民館の使用許可申請書の様式が変わります～

令和7年5月～6月に、「公民館使用許可申請書」の様式等が変わります。

ご不明な点がございましたら、公民館職員までお問い合わせください。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



★裏面もご覧ください

### 3月の健康運動教室

日 時：3月12日(水) 10時～11時 30分  
持ち物：タオル、飲み物  
場 所：三田ヶ谷公民館 和室  
問合せ：健康づくり推進課

### 3月のはつらつ教室

日 時：3月28日(金) 10時～11時  
持ち物：タオル、飲み物  
場 所：三田ヶ谷公民館 和室  
問合せ：高齢介護課

3月の休館日 毎週火曜日、20日



## 「いいでえー！！三田ヶ谷！ ～歴史と文化～」

### (第10回 田舎教師の像)

弥勒には「**田舎教師の像**」が建っています。三田ヶ谷地区の住民の方々には見慣れたブロンズ像かもしれません。この像が建立されたのは、昭和52年(1977)のことでした。

このブロンズ像は、田山花袋の小説『**田舎教師**』の主人公「林清三」をモチーフにしています。林清三のモデルは実在した「**小林秀三(こばやしひでぞう)**」のため、秀三の姿と言っても過言ではないでしょう。ブロンズ像の制作者は、**法元六郎(ほうがろくろう)**という彫刻家です。制作にあたり、法元氏は次のように述べています。

「私はここで(小林秀三の)切羽つまった多感な心の輝きを思い描かずには居られませんでした。そんな訳で歩く姿の小林秀三を制作しようと思いました。羽織袴に当時はハイカラの烏打帽子を冠り、下駄をはき、右手に風呂敷包を持ち、ぐっと正面を見すえ、左手の拇指(おやゆび)に意志の力を込めて……という構想が決まりました」(「田舎教師研究」第1号より)

明治期に生きた小林秀三に想いを馳せ、制作したことがわかります。改めてブロンズ像を見ると、田舎教師の左手の親指は「意志の力」が込められていることがわかります。まっすぐ前を見つめ、右足を一步踏み出したその姿は、「運命」を受け入れ、あるいは立ち向かっていくことを意味しているのでしょう。制作者の意図を読み解きながら目にする田舎教師の像は、いつもと違うメッセージを投げかけてくるかもしれません。



このブロンズ像を制作するにあたり、法元六郎氏は何体かの小さな像もつくっています。三田ヶ谷地区には何体あるでしょうか！？

